



# 柏建 原市設 新庁舎通 信

Vol. 7

令和2年度 6月

## C工区 1階床コンクリートの打設

6月2日(火)にC工区の1階部分最後の床版コンクリート打設を行いました。この日も朝からコンクリートの打設を行い、総量としては182m<sup>3</sup>にもなりミキサー車43台によるコンクリートの運搬を行いました。

1階部分最後のコンクリート床版となりこの日をもって1階の床コンクリート躯体が完成となりました！

1階コンクリート床版

完成！



## 鉄骨製品工場検査

鉄骨工事の工程は、大きく鉄骨製作段階と現場施工段階に分けられており、前もって工場にて部品となる柱や梁の制作をおこない、現場に搬入し組立施工を行います。

現場で問題なく施工するためには、鉄骨製作段階の管理が非常に重要となり、寸法確認や材料自体に劣化などの不良が無いが、製作工場の社内検査により鉄骨材の管理をします。

また、工事監理者による制作工場での受入検査も行い鉄骨工作図と設計図書との照合、設備スリーブ(穴)等の位置と補強の確認や、超音波探傷試験と呼ばれる超音波を用いて溶接部分に傷や空洞が無いが確認します。



## 鉄骨建方(鉄骨の組立)開始!!

6月8日から鉄骨建方(鉄骨の組立)が始まりました！これからいよいよ、新庁舎の建屋の工事に掛かってまいります！

工場での製品検査を行い合格となった鉄骨材がドンドン現場内に運び込まれてきます！



搬入された鉄骨材

工事現場に搬入された鉄骨材は、工事監理者によって受入検査が行われます。



鉄骨受入検査

受入検査では、寸法の確認や目視により反りやひずみなどが無いが細かくチェックしています！

鉄骨材同士の接合の一つ、高力ボルト接合で使用するボルトの受入検査を行いました！高力ボルト接合とはボルトを強く締め付けることで鉄骨材同士を強く抑えつける圧縮力が生まれます。この圧縮力により鉄骨材同士に摩擦抵抗力が発生し、挙動を抑えることができる強い接合部が出来上がります。



高力ボルト受入検査



鉄骨溶接

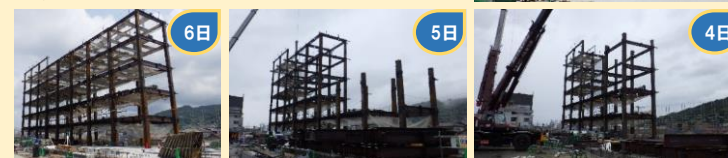
新庁舎の鉄骨梁の接合方法は工場での製作期間が短縮できるノンブラケット工法を採用しました。ノンブラケット工法とは鉄骨の接合箇所をボルト接合と、溶接接合を併用する工法です。安全のために吊足場を設置し溶接箇所は完全溶け込み溶接を行い、全溶接箇所の超音波探傷試験を行います。

## 鉄骨工事の進捗!!

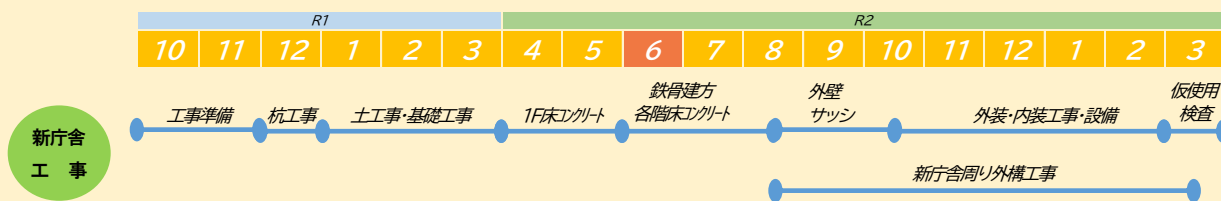
鉄骨工事が始まってからの1週間の様子です。その間の進捗は写真の通りとなり、建方の速さが見て取れるかと思えます！

建方の大まかな流れとしては、区間ごとに仮ボルトによる仮組→傾きの調整→高力ボルトによる本締め及び溶接による接合という流れとなり、おおよそ1か月ほどで全体の鉄骨が組みあがる予定で、新庁舎全体のボリューム感が分かるようになります！

雨の多い時期ですが、多くの作業員の方たちの頑張りで新庁舎の建設が進んでおります！



## 新庁舎建設工事 令和2年度スケジュール



582-8555  
大阪府柏原市安堂町1番55号  
柏原市役所 総務部庁舎整備室  
TEL: 072-920-7175  
E-Mail: choshaseibi@city.kashiwara.lg.jp